

三陸沿岸道路（唐桑高田道路）  
（仮称）<sup>けせん</sup>気仙トンネルの着工式のお知らせ

三陸沿岸道路「唐桑高田道路」は、復興のリーディングプロジェクトとして一日も早い開通を目指し、地域一体となって事業を進めております。

このたび、唐桑高田道路の「（仮称）気仙トンネル」（延長706m）の掘削にあたり、請負者主催による着工式が開催されますのでお知らせ致します。

また着工式では、工事の無事故・無災害と、被災地の一日も早い復興を願い、陸前高田市長をはじめとする各来賓による鍬入れ、および気仙小学校（6年生）の児童の皆様による「気仙町けんか七夕太鼓」が行われます。

1. 日時：平成26年12月 2日（火）10：00～
2. 場所：陸前高田市気仙町字荒川地内 【別紙－1参照】  
気仙トンネル起点坑口部
3. 主催：国道45号気仙トンネル工事 鉄建建設株式会社 東北支店【別紙－2参照】
4. 内容：「気仙町けんか七夕太鼓」気仙小学校（6年生児童）  
挨拶（発注者、施工者）  
来賓祝辞（陸前高田市長） など

注）現地付近では、施工者の係員が案内・誘導いたします。

（参考）唐桑高田道路の主な整備効果【別紙－3参照】

- 効果①：緊急輸送道路の信頼性確保  
効果②：迅速な救急搬送と安全・安心な住民生活に寄与  
効果③：高台移転との一体整備、「復興まちづくり」を支援  
効果④：漁業・水産加工業の復興に寄与、産業活性化に期待  
効果⑤：三陸沿岸部のネットワーク形成により、観光振興に期待

【発表記者会】

岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、大船渡記者クラブ、気仙沼記者クラブ、東北専門記者会

問 い 合 わ せ 先

【着工式や施工内容に関するお問い合わせ】

鉄建建設株式会社 東北支店 気仙トンネル作業所  
〒029-2203 陸前高田市竹駒町字相川142-6 （代表）電話：0192-22-7180  
現場代理人 <sup>うらもと たかし</sup> 浦本 孝志

【事業に関するお問い合わせ】

国土交通省 南三陸国道事務所  
〒026-0301 釜石市鶴住居町第7地割13-7 （代表）電話：0193-28-4731

副所長 <sup>やまぐち みつる</sup> 山口 満（内線204）  
南三陸国道事務所のホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html>



復興道路 国道45号 気仙トンネル工事

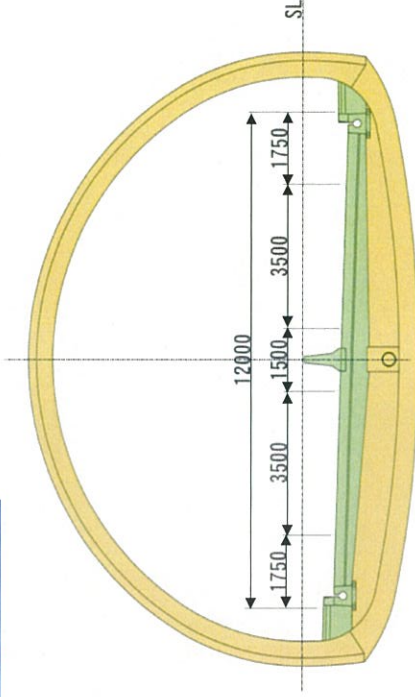
位置図



工事概要

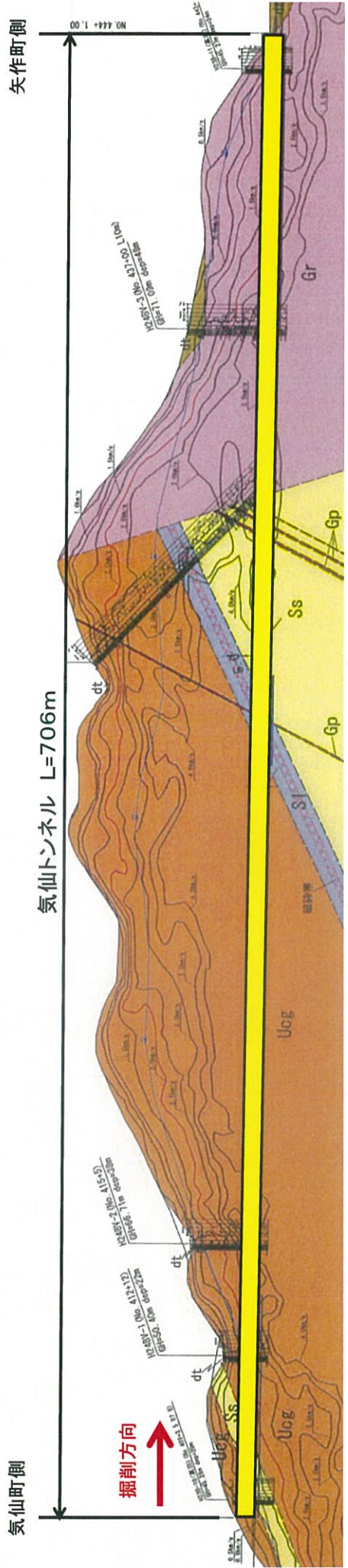
工事名： 国道45号気仙トンネル工事  
 施工者： 鉄建建設(株)  
 工事場所： 陸前高田市気仙町字荒川沢～矢作町字大嶋部地内  
 工事期間： 平成26年2月～平成27年9月  
 請負金額： ￥2,121,200,000-  
 工事内容： トンネル工、仮設工、他  
 ・気仙トンネル(仮称) 延長706m

標準断面図



※トンネル名称は全て仮称

トンネル縦断面図

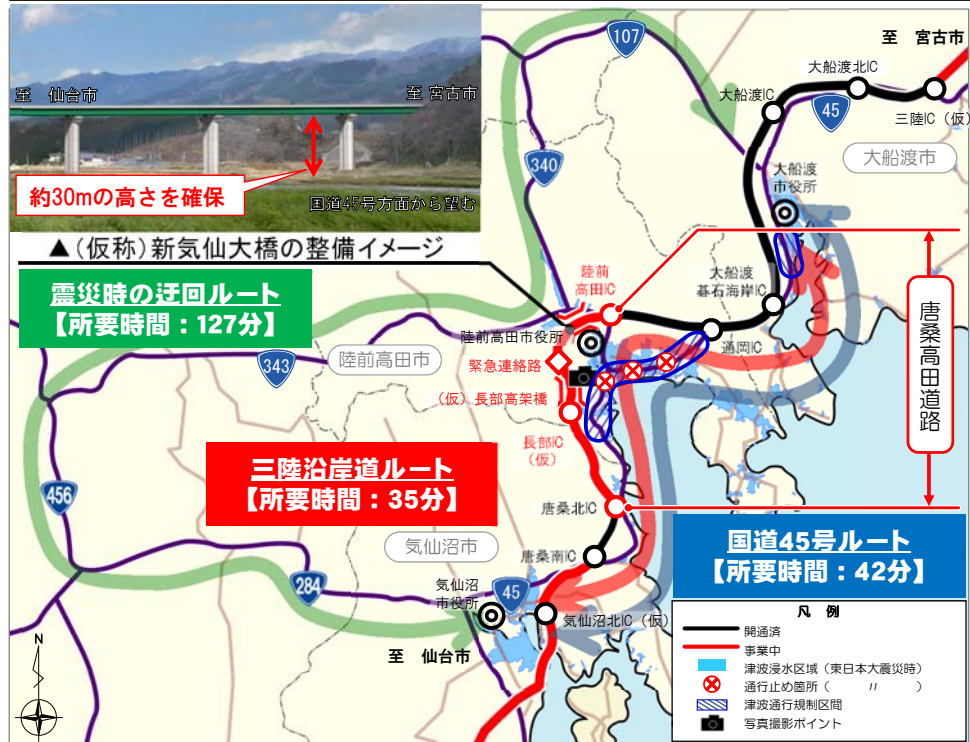


トンネル掘削工法：NATM工法



## 緊急輸送道路の信頼性確保

- 三陸沿岸道路は、津波浸水区域を回避、または高さのある橋梁で通過できるように整備します。
- 災害時においても寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成します。

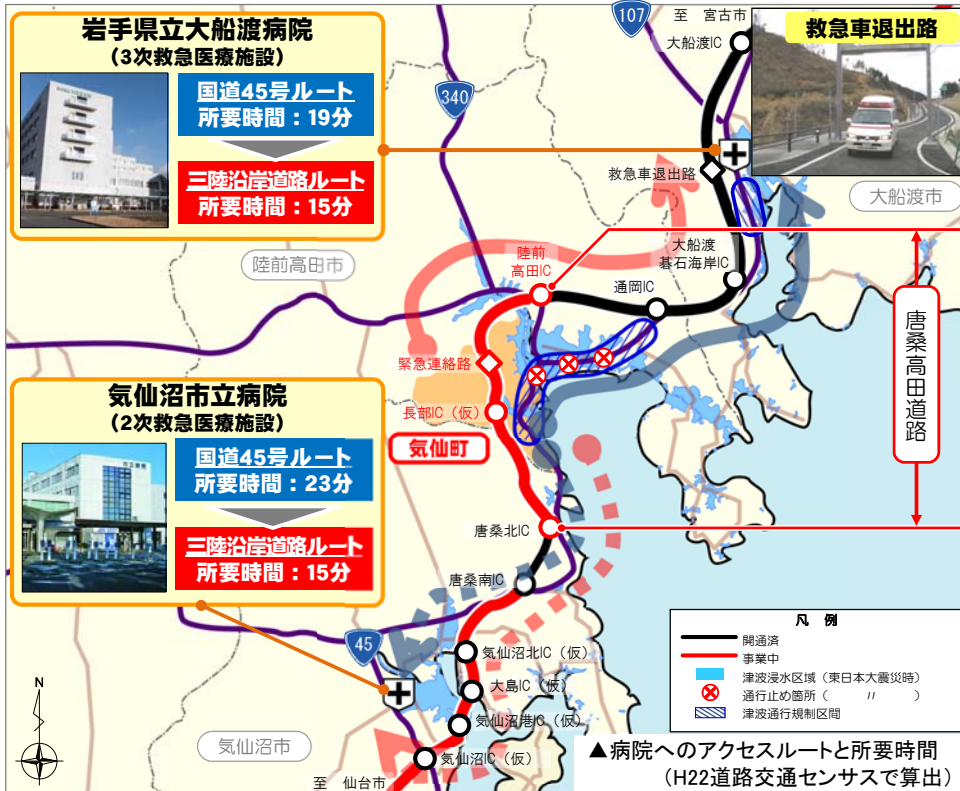


▲震災時と通常時の大船渡～気仙沼間のルートと所要時間の違い (H22道路交通センサスで算出)

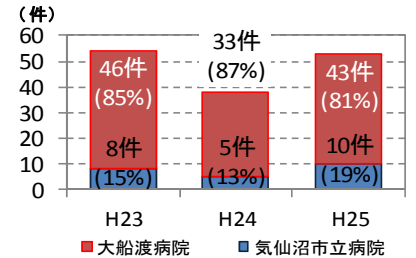
▲修復旧で対応している気仙大橋

# 迅速な救急搬送と安全・安心な住民生活に寄与

- 迅速な救急活動を支援し、地域の皆様が安全・安心して暮らせる地域づくりに寄与します。
- 緊急連絡路の整備により通行止め区間を回避でき、災害時における救急活動も支援します。



- ◇大船渡病院・気仙沼市立病院の2病院への時間短縮が期待される。
- ◇また、災害時などの病院間の連携支援も期待される。



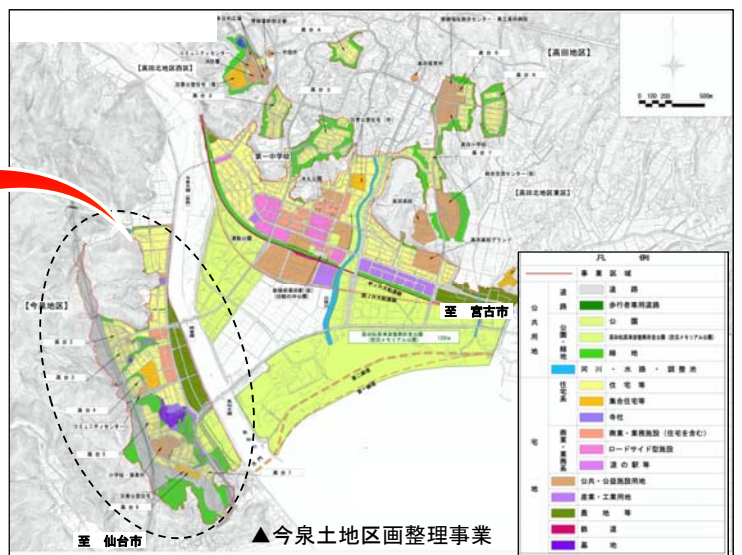
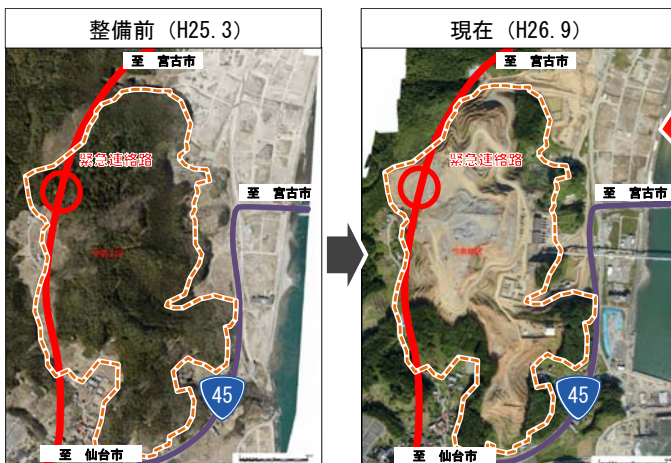
▲救急搬送件数  
資料：陸前高田市消防本部の救急搬送実績  
※大船渡病院への搬送：気仙町からの件数  
※気仙沼市立病院への搬送：陸前高田市全体の件数

- 災害時、**遠回りせず病院へ搬送**できる。
- **大船渡・気仙沼、2つの病院への時間短縮が期待**できる。

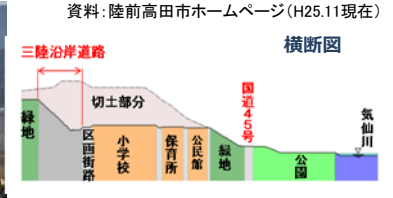


# 高台移転との一体整備、「復興まちづくり」を支援

- 陸前高田市の高台移転計画と道路整備を一体的に行い、復興まちづくりを支援します。
- 三陸沿岸道路に緊急連絡路を設けることで、災害に強い安全なまちづくりに貢献します。



- 津波の影響で孤立する地域があった。
- 緊急連絡路ができることで、**地域の孤立を防ぎ、安心した暮らしが提供**できる。



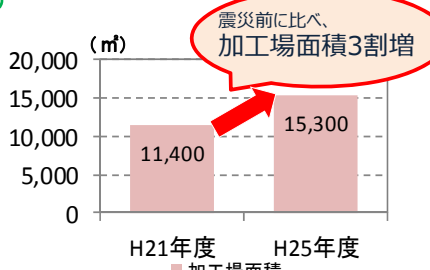
# 漁業・水産加工業の復興に寄与、産業活性化に期待

- 漁業・水産加工業の再建が進み、水産加工団地の工場が平成25年から稼働開始。
- 都市圏へのアクセス向上・時間短縮に伴い、商圏の拡大・生産性向上等、産業活性化に期待。



資料:ヒアリング調査より搬送ルートを確認(長部～仙台市中央卸売市場)  
H22道路交通センサスで算出

- ◇ 震災前より水産加工場の面積が3割増加し、生産体制が強化。
- ◇ 輸送時間の短縮により、商圏の拡大、生産工程が改善され、生産性の向上も期待される。



▲復興が進む長部地区の水産加工団地(背後地)

- 三陸沿岸道路の整備により**商圏の広がり、新たなビジネスの展開**ができることを期待している。
- **陸前高田と気仙沼に拠点**が分かれているため、**道路整備により生産効率の向上**が期待される。

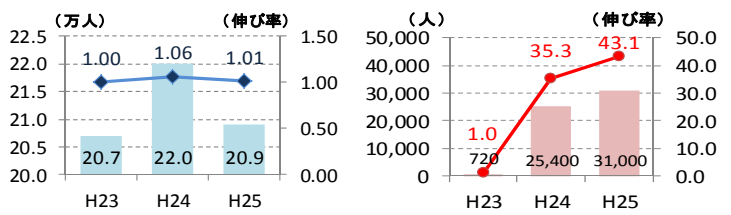


# 三陸沿岸部のネットワーク形成により、観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在している。
- 新たな観光施設がオープンし、道路整備による周遊ルートの形成で観光振興への期待が高まっている。



- ◇ 「被災地視察」から「復興現場視察」へ、来訪目的が変化。
- ◇ 復興が進むにつれ、観光拠点を周遊する方も増えており、道路整備により観光振興に寄与することが期待される。



- 「一本松茶屋」がオープン(H26.8)してから、**観光物産品の売上げが大幅増加**した。  
**今後、防災教育等のツアーを企画し、誘客**したい。



- 復興現場や観光拠点を周遊する観光が増加。
- 気仙沼と陸前高田の**2地域をまたいだ観光需要の創出**に期待している。

